

大月 安之

Otsuki Yasuyuki



90歳で水泳大会初出場

昨年、マスターズの水泳大会に初出場した大月安之さんは、御年90歳です。大会では、男子選手最高齢賞を受賞。「水泳を始めてから、大会に出ないかと周りの皆さんに誘われていましたが、ずっと断っていたんです。逃げ口上に90歳になったら出ると言っていたら、本当に90歳になって嘘はつけないので、初めて大会に出場しました」と笑います。

大月さんがプールに通い始めたのは、77歳の時のこと。子どもの頃から水泳が好きだったという大月さんですが、当時は近くにプールが無く、川

真

MANIWA BITO

庭人

男子選手最高齢賞の盾と記録証、川柳ほくぼうの巻頭言集



大月 安之さん (下巻部)

長年郵便局に勤め、職場のチームで野球とソフトボールをプレーしていた。77歳から、「真庭市勝山健康増進施設 水夢」に自ら運転して通っている。川柳もたしなみ、新聞の川柳コーナーで第一席となったことも。冊子「川柳ほくぼう」の巻頭言を長年執筆していた。

などで泳いでいたそうです。「プールで泳ぎたいという気持ちはずっとあって、勝山にプールができたので通い始めました」と話します。週に5回はプールに行くそうで、プールに着いたらまずお風呂で15分ほど体を温めて、それから1時間ほど水の中を歩いたり泳いだり。その後、またお風呂で体を温める。それがいつもの流れです。「友達との会話が弾んだら、30分くらい伸びますけどね」と笑います。

100歳まで続けたい

「水泳を始めて、体の調子が良いですね。運動自体が体に良いし、友達に会えるのも良いです」と楽しげな大月さん。「気さくな人ばかりで、『田植えは済んだか、いいやまだじゃ、野菜に虫が来るんじゃない』と、いろんな話ができます。みんな友達ですね」と話します。

長く続けるために大切なことを聞くと、「病気をせず健康なこと。それが一番だと思います」と話す大月さん。「このまま長く水泳を続けたい。それと、大会には毎年出たい。できれば、100歳までやりたいですね」と意気込みます。

